

授業科目名	保育内容環境 I	担当教員名	吉本 春樹
必修/選択	必修	開講学年・学期	2年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む) 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の概要及び全体目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定子ども園教育・保育要領の領域「環境」の趣旨に沿い、子どもの発達段階を中心に据え、自然事象や社会事象を具体的に解説する。遊びや素材を生かした保育活動を進められるよう製作活動も取り入れながら進めていく。		
到達目標	<p>就学前教育である幼稚園。保育所・認定子ども園の特性を踏まえ、領域「環境」を小学校教育の生活科等の学習を考慮し、子どもたちの興味関心を育てるために、幼児それぞれの発達段階を理解しての迫り方を追求できるようにする。</p> <p>1-保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>(1)各領域のねらい及び内容：幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</p> <p>②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>④領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p> <p>2-保育内容演習</p> <p>(1)養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</p> <p>(2)子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点 (「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」)と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域 (「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について具体的に理解する。</p> <p>(3)上記2に示した保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。</p> <p>(4)子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程 (計画・実践・記録・省察・評価・改善) の実際について理解する。</p>		
テキスト	「保育環境」田中敏隆監修 (田研出版株式会社)		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)		
成績評価の方法	○授業への参加意欲と態度：30% ○授業への貢献度：20% ○定期試験：50%		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	・「環境」とは何か、環境の大別について ・領域「環境」のねらいと内容について ・領域「環境」の指導上の留意点		
第2回	・子どもの発達過程①「0歳～3歳未満」 ・幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定子ども園について、領域「環境」の比較		
第3回	・子どもの発達過程②「3歳～6歳」 ・乳幼児の感覚の発達及び体の発達と保育活動 ・身体の動きの変化と遊びの種類の変化		
第4回	・「気象現象」「宇宙や天体」への興味関心を高めるために ※情報機器あるいは視覚教材の使用		
第5回	・「動物」への興味関心を高めるために ・身近な動物の観察法・飼育法		
第6回	・「植物」への興味関心を高めるために① ・身近な植物の観察法		
第7回	・「植物」への興味関心を高めるために② ・植物の栽培法		
第8回	・数量に関する発達の姿 ・年齢段階に応じた数量の概念 ・数を日常的にとらえる習慣作り		
第9回	・図形に関する発達の姿 図形模写の発達について 図形の認識と識別について		
第10回	・自然素材(土・砂・石)などを使った遊びや活動 ・水の利用と遊びについて ※模擬指導		
第11回	・科学遊びの例と指導の留意点 ・光を使つての遊びと指導の留意点 ※模擬指導		
第12回	・数量や図形の指導の方法 ・時間や空間の指導と留意点		

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活とルールの理解 ・道徳教育の基礎を築くための子ども理解について ・生命の尊重に関わる指導について 	
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境と園内環境の違い ・幼児の安心と安全を育む工夫 ・遊び中の危険 ・園内環境の管理 	
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員としての基礎を築くために ・国旗に親しみ、国家への理解をどう高めるかについて 	
定期試験	筆記試験	